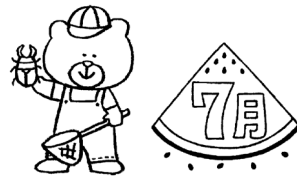


ほけんだより

令和3年7月



5月から6月にかけて胃腸炎が流行し、合計で30名ほどの園児が発症してしまいました。(原因菌などは不明です。)

気温が高くなるこの季節は、細菌の活動が活発になり、細菌を原因とする食中毒が発生しやすくなります。肉の生食、加熱不足によるカンピロバクター、腸管出血性大腸菌 O157 等の食中毒に注意が必要です。

食中毒予防のための肉や魚の扱い



1. つけない

食中毒の原因菌やウイルスを食べ物につけないよう、こまめに手を洗いましょう。包丁やまな板など、肉や魚などを扱った調理器具は使用することに洗剤で洗い、できるだけ殺菌するようにします。

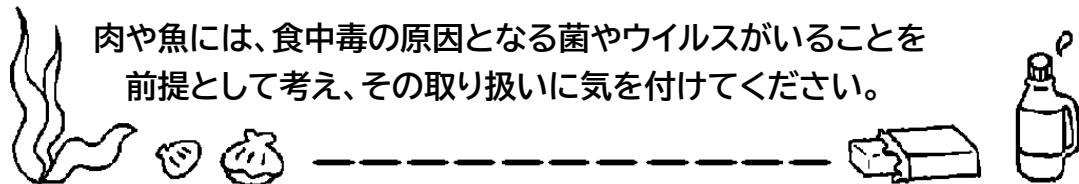
2. 増やさない

細菌の多くは 10℃以下で増殖のペースがゆっくりとなり、マイナス 15℃以下で増殖が停止します。肉や魚、野菜などの生鮮食品は購入後、すみやかに冷蔵庫に入れてください。

3. やっつける

ほとんどの細菌やウイルスは加熱によって死滅するので、しっかり加熱して食べましょう。

肉や魚には、食中毒の原因となる菌やウイルスがいることを前提として考え、その取り扱いに気を付けてください。



歯科検診を行いました



口を大きく開けて上手に歯を見せることができていました。

検診の結果に関わらずお子さまの歯の健康のために定期的な受診をお勧めします。

虫歯になりやすい歯

3歳までの子どもは上の前歯がむし歯になりやすく、とくに歯と歯の間や歯のつけ根に注意が必要です。

3歳をすぎたら、奥歯のみぞや奥歯と奥歯の間に注意しましょう。そして、5~6歳ごろには、初めての永久歯「六歳臼歯」が生えてくるので、見逃さないようにチェックして、いっそうていねいなケアを心がけてください。

乳歯が虫歯になるとどうなるのか

乳歯がむし歯になると痛みや、ひどい場合には穴があき物がしっかり噛めなくなります。よく噛めないと、唾液が十分に分泌されず、栄養の吸収が悪くなります。硬いものを嫌うようになり偏食の原因にもなります。

さらに、永久歯の歯並びにも影響してきます。きちんと噛めないと、あごが発達せず、永久歯の並ぶスペースがなくなってしまうます。乳歯がむし歯によって早く抜けると、永久歯は目標を失って、正しい位置に生えてこられません。

乳歯を健康に保つことは、永久歯だけでなく、子どもの心身の成長のためにも、とても重要なこととなります。



7月のほけん行事

頭髪検査 5日・19日

身体測定 ひまわり、ゆり、ちゅうりっぷ 14日

すみれ、あじさい、よつば 21日